

# 園だより

2022年9月号  
2022年9月1日発行

## 『この色は何色??』

この1番前にある色鉛筆の色は何色ですか?と聞かれたらなんと答えますか?

幼児クラスでは、毎日のように塗り絵を熱心に塗る姿の子どもたちを目にします。先日、同じテーブルで塗り絵を塗る子どもたちに「この色はなんていう色か知っている?」と聞いてみました。「はだいろ!!」と元気に答える子、「うすだいだいろ!」とはにかみながら答える子、2つの答えが返ってきました。

私はこの色鉛筆を見るたびに、苦い思い出を思い出します。それは15年以上前、前職場の児童館勤務の時のできことです。児童館に来ていた、小学生数人と色塗りをしていた時です。私が、手の届かないところにある鉛筆を「そのはだいろの鉛筆とってくれる?」と何気なく子どもたちに声をかけると、1人の男子小学生が、「これははだいろと言わないよ!だって、ほくの肌の色は違うでしょ!これはパールオレンジと言うんだよ!」と教えてくれました。自分の無知さと彼に嫌な思いをさせたのではないかと思い、申し訳ない気持ちでいっぱいになったことを今でも強烈な記憶として覚えています。そして、すぐに色について調べこの色鉛筆は、「うすだいだい」とか「パールオレンジ」と表記されていると知りました。『ぺんてる株式会社では、教育の場から肌の色というのを画一的に決めるのは教育的にどうなのか、という声があがり1999年から名称を変更。2000年9月の生産から、「はだいろ』の呼称は、人の肌の色への固定概念を与える可能性がある」と指摘されていたことから、市場の混乱を避けるため、トンボ鉛筆・サクラクレパス・三菱鉛筆の3社で協調し、一般でわかりやすい、語感がよい、色を連想しやすい、日本人に馴染みやすい、他の業種にも混乱を来さないなどという点から、和名「うすだいだい」、英名「Light orange」への変更を決定。』とありました。



黎明保育園でも、職員に聞いてみました。すると、半数以上が「はだいろ」と答え「うすだいだい」に変更されていると知っている職員は46パーセントくらいでした。私たち大人の方が、子どもの時の記憶や固定概念で「はだいろ」と呼んでいることが多いのかもしれませんが。現実的には、「はだいろ」という名前が問題というよりは、「肌の色はこの色」という固定概念が問題。という指摘も記述にはありました。私たち保育者は、未来を担う子どもたちが、違いを受け入れ、それぞれを尊重できるような気持ちや心を育めるようにアプローチしないといけないと思っています。1つの色の呼名という小さなことではありますが、私たち大人がまず知ることから始めたいと思います。

西田 麻紀

※参考・引用 三菱鉛筆よくある質問コーナー「はだいろがなくなった」

※参考・引用 絵具・クレヨン・色鉛筆から「はだいろ」消えた。現代の「はだいろ」とは